

知って、備える、防災啓発活動に 地震体験装置

～震度7を体感しよう～

**地震は突然
やってきます!!**

いざ大地震発生! という場合、自身の安全確保、火の元確認、脱出路の確保など、あなたは落ち着いて対応出来ますか!? 「地震体験装置」は震度7の地震の揺れをリアルに体験することで、災害への意識と防災対策の啓発に効果的です。災害から命を守るために、一人ひとりの防災に対する意識向上にお役立てください。



震度と揺れ回数を指定するだけの簡単操作で
最大震度7までの横揺れが体験できます

地震体験を通して参加者の防災への関心を高め
防災の啓発と教育に役立ちます

場所を取らないコンパクトサイズ、家庭用電源で
いつでもどこでも**手軽に使えます**



地震の揺れを体験し、防災の理解を深め、学びましょう。



地震情報



【1955年阪神淡路大地震】神戸市中心部で大規模火災に。

住宅が倒壊し交通障害が生じました。【2011年東日本大震災】

震度7を観測。長周期震動で震源から遠い大阪市でも大きな揺れが発生。また大津波が発生し膨大な被害に。【2016年熊本大地震】熊本県と大分県で震度6強の地震が2回、6弱が3回発生、一連の地震回数では最多を記録。

そして20XX年、今後予想される首都直下地震や南海トラフ地震では、津波被害、大都市特有の被害も多く予想されています。

地震の心構えはできていますか？ 震災に対する備えは万全ですか？

学習効果



防災意識を高め
心構えと備えを万全に。

【身を守る行動を知っておく】

いどこで起こるか分からない災害に備え、あらゆる場面を想定し自身を守る行動のシュミレーションを行いましょ。

【家の中の安全対策】

災害発生前の備えとして、家具やテレビの転倒、ガラスの飛散防止など家の中の安全対策をしておきましょう。

地震対策

身近で出来る防災
家族で取り組もう！

【家族で防災会議】

いざというときの家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法を日頃からよく話し合しましょう。あらかじめ災害時の家庭内の役割を分担しておきましょう。

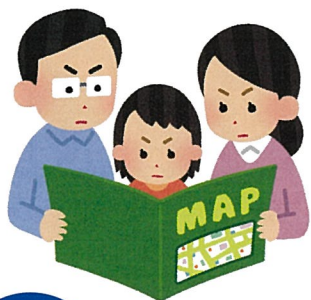
【防災用品・非常持出品の準備】

災害発生後の数日間は自足できるよう準備をしておきましょう。非常持出品は、避難時にすぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。



共助、公助、みんなで
防災に取り組もう！

災害時は、交通網の寸断や火災などで、消防や警察などの公共機関が対応できない可能性があります。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで防災組織に参加し、災害に強いまちをつくりましょう。また、高齢者や子ども、障害者など、手助けが必要な人のために、地域で協力し合いながら支援していきましょう。



地域での備え

☑ 災害の備えは日頃からチェックしておきましょう

家庭での備え

- 家具類の転倒・落下防止などの安全対策
- 食料や飲料水などの確保(最低3日分)
- 医薬品・ラジオなど非常時持ち出し品の準備
- 避難所の位置、安全な避難経路の確認
- 災害時の家族間の連絡方法の確認

- 地域での防災機材(消化器、担架、テント、救助用工具など)の備え
- 高齢者、障害者など災害時に配慮が必要な方への情報伝達や避難誘導法の検討